

冒険への扉を描き、開け放つ

筑波大学附属小学校 五年 北上 莉子

私の将来の夢は二年間で大きく変容した。宇宙飛行士から作家になったのだ。全く違うように見えるがそうではない。両方共冒険家なのだから。本を開いた瞬間、そこは自由な想像がふくらむ世界。私を幼い頃から無類の本好きにさせた魅力がそこにはある。物語の中では読んだ人全てが宇宙空間を自在に飛びまわるといふ夢が実現する。現実世界で厳しい環境におかれている人も本の世界では誰にもとがめられずに心を解き放つことができるのだ。また、世間では本嫌いの人もいる。そういう人も自然と本の中に入りこんでしまうような作品もあったらいいと思う。そんな世界中の人達に「本がある人生のすばらしさ」を自分の描いた世界で知ってもらいたい。これが作家になりたいと思った理由の一つである。何より、想像する事が大好きな私の頭の中を未来に残せるかもしれない絶好の職だ

と思う。さて、実際作家にはどうしたらなるのか？小説はいつどんな物を書いてても良いので今から文をどんな物を書いて練習し、様々な新人賞に応ぼしてみたい。何度も書き続けた末、一次審査を突破して得た評価は専門家からもらった大切な意見なのだ。それをもとにさらに勉強を続ける。正しい文章を書くためにも学業と両立させながら高校卒業までに日本語検定一級の合格を目指したい。難しい試験に立ち向かう茨の道も執筆に役立つ経験になると思うので一步一步進みたい。大学では勉強を軸にできるだけアルバイトをするのも幅の広い文章を書くには都合が良いと考えている。収入を得ながら作家への経験を積む事には理由がある。お給料をもらう仕事とはちがって作家というのは収入が不安定な仕事のような確率は低い。そこで、仕事で経験を積みながら

が得た収入をコツコツ貯えておけば、小説で生計を立てられる日まで支えになると考えたからだ。ここまでで学生時代だけでも学費など勉強をするには常にお金が必要な事がわかり両親への感謝の気持ちが芽ばえた。

一方で、私があたり前だと感じていた学ぶ環境を得られない子ども達もいる。そこで私はもう一つの大きな夢を持つことにした。それは「世界中の人の識字率を上げる」という事だ。今日の日本では義務教育のおかげで国民のほとんどが字の読み書きができる。ただし世界全体の識字率の低さには目を見張るものがある。調べてみるとその低さは宗教、内戦、労働力としてかり出される等の理由が原因である事がわかった。そこで私は思いついた、作家になる夢を活かすという事を。まず、世界中の教育をとりまく現状とその危険性を様々な言語で書いた本を無料で世界各国に置いてもらう。そしてあらゆる国の言語で書いた絵本を手にも、識字率の低い国へと飛び立つ。絵本を知らない子供達とその開かれた未来のために。

北上 莉子のライフプラン

将来なにになりたいか？ 作家  
 その理由：私は小さな頃から本に親しみ想像をふくらませて楽しんでいたので、世界中の人が本好きになるような作品を書いてみたい。世の中の厳しい環境下におかれている人達も本の世界に入り込むことができれば、その豊かさを育め、視野が広がると思っただから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	11才(小5)	色々な本をむさぼり読んで自分とはちがう世界の人の心の気持ちを知る。文章を書く練習!!	本代、しゅく代、学費
2023年	12才(小6)	中学へ入る勉強をがんばる!! 筑波大学附属小学校卒業	中学入学費
2024年	13才(中1)	筑波大学附属中学校入学 日本語検定3級合格に向けがんばる	検定費用
2025年	14才(中2)	校内新聞など文を書く活動に積極的に参加して文のスキルを上げる 高校に入る勉強	執筆用パソコン代
2026年	15才(中3)	色々な新人賞のために応ぼしていく 筑波大学附属中学校卒業	応ぼ費用
2027年	16才(高1)	筑波大学附属高校入学 日本語検定2級合格に向けがんばる	高校入学費、検定費用
2028年	17才(高2)	第一次審査突破!! 評価を見て文を直したり更に文章力を上げていく。	予備校代
2029年	18才(高3)	大学に入るための猛勉強!! 日本語検定1級合格に向けがんばる	検定費用、受験費用
2030年	19才(大1)	東京大学文学部に入学!! 7/11バイト等々色々な経験積み、自分の世界を広げる	テキスト代
2031年	20才(大2)	作家になれた時、めっちゃにあわててモウモウなように水泳などで体力を保持し、強い精神を築く。	運動施設の利用費
2032年	21才(大3)	売れるまでの備えとして収入に活かせる資格を取ります。	資格をとるための費用
2033年	22才(大4)	とうとう新人賞を受賞し、有名になり影響力を高める	新人賞受賞式の服代
2034年	23才	短編小説を週刊誌に発表し、まとめた本を出版していく。	英語フランス語を学ぶ費用
2035年	24才	書いた本を出版する。それらを世界中の言語に翻訳し無料	翻訳用パソコン代、印刷代、旅費
2036年	25才	でおいてもらえるように交渉し世界へ行く。世界の人の理解を得て絵本を執筆。あらゆる言語に翻訳して大量に印刷する。	絵本用
2037年	26才	絵本をもつて識字率の低い国の子供達への所へ行、て読み聞かせをする。	774接種代
2046年	35才	日本の伝統的なおもちゃなど子供達へのおもちゃを作る。	おもちゃ代

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!